

## 江原総領事のチャナッカレ県訪問 (2016年4月19日～20日)

4月19日～20日、江原総領事は、チャナッカレ県を訪問し、ハムザ・エルカル・チャナッカレ県知事を表敬訪問・会談するとともに、チャナッカレ3月18日大学において「日本―トルコ関係の曙」と題した講演会を行いました。

エルカル県知事との会談において、江原総領事は、チャナッカレ3月18日大学の日本にとっての重要性を強調するとともに、チャナッカレはトロイ観光の起点として日本人観光客も多く訪れる重要な都市であり、引き続き関係を強化していきたいと述べつつ、邦人の皆様の安全の確保において知事の一層の協力を要請しました。

これに対し、同県知事は、チャナッカレ県にはダーダネルス海峡大橋の建設計画もあり日本企業の参加を期待したい、また、日本人の安全のためにも一層取り組みたいと述べました。

イスタンブールの西方に位置するチャナッカレ県はダーダネルス海峡を擁する要所であり、チャナッカレ3月18日大学は約4万4千人が学ぶ総合大学で、教育学部日本語教育学科においてトルコで唯一、日本語教員の育成が行われています。



エルカル県知事との会談

今回の訪問では、チャナッカレ3月18日大学日本語教育学科の学生・教員の皆様を前に、江原総領事が両国の歴史的関係を紐解きつつ「日本―トルコ関係の曙」と題した講演を行い、将来の日土関係を担う同大学の学生たちの益々の活躍を期待しました。また、生け花の教師である江原総領事夫人より生け花の概要説明とデモンストレーションが行われました。両講演とも学生たちは熱心に聴き入っていました。また、この機会に、文部科学省国費留学制度に関する説明も行いました。

この他に江原総領事はユジェル・アジェル同大学学長と会談し、今後の両国間の文化・学術交流の発展に向けて意見交換を行いました。



開会式で挨拶する江原総領事



講演を行う江原総領事



生け花デモンストレーションを  
行う江原総領事夫人



アジェル学長との会談